

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 京都市立紫野高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒603 - 8231
京都市北区紫野大徳寺町 2 2

E-mail murasaki@edu.city.kyoto.jp

Website http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=300803

児童生徒数 男子 472 名 女子 535 名 合計 1007 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☒ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☒ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☒ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

▽総合的な学習の時間

本校では総合的な学習の時間を「むらさきの Global Action Program」と位置づけ、持続可能な開発をテーマに活動を行ってきた。具体的には、1年前期にまず「持続可能な開発」の概念について学習をすすめ、そのまとめとして「持続可能な社会を目指して私にできること」のタイトルで800字の小論文レポートを作成させ、校内でのコンテストを実施した。1年320名全員が参加している。また1年生の3月に海外研修を実施するため、後期では行き先であるマレーシア・オーストラリアをテーマに、両国のつながりや文化比較を意識した授業を行った。例えば、本校周辺の大徳寺、今宮神社、今宮商店街にフィールドワークとして各所に現状の課題と長所を聞き取り、それをポスターにして発信した。このような活動を基盤にマレーシアでも聞き取り調査を行い、帰国後に考察、発表を行う。

一方、2年生普通科スタンダードコースでは日本の伝統文化を継承するために自分たちができることを企画した。具体的には、京都の世界遺産や伝統文化について調べ、課題などを設定してそれを解決する持続可能な取り組みを1年生、2年生に向けてポスターセッション形式で提案し意見交換を行った。また総合的な学習の時間では、京都の文化である祇園祭や京こまに携わっている人を講師に招き、講演会を実施した。それ以外にも「持続可能な社会の開発」や「グローバル社会」について学術顧問の明石氏や広島大学の池野氏の講演を行った。その他、防災教育にも注力し、生徒の当事者意識を高める授業を行った。

その他、英語の授業では異文化理解をテーマに、物理の授業ではエネルギー問題についてディベートを行い、論理的思考の力を培った。

▽ユネスコスクール

本年度も「世界一大きな授業」に参加した。また京都府下のユネスコスクール6高等学校が上賀茂神社に集まり、交流会を開催した。本校からは有志を募って5人の生徒が参加し、上賀茂神社・乾権禰宜による世界遺産の講話、「温故知新」という題で未来について考えるワークショップを実施した。最後に、各校におけるESDへの取り組みをポスターセッションで発表した。

▽海外研修

本校では1年生普通科がマレーシアの文化、言語、宗教、習慣など異文化を体験しながら国際理解、地域文化について考える研修を、1年生アカデミア科ではオーストラリアのクイーンズランド州トゥーンバ市の南クイーンズランド大学で語学研修、大学生との交流、またアボリジニー文化体験などを行った。

その他、京都市立高校から代表生徒32名が選出される「グローバルリーダー育成研修」へ本校より5名が参加した。また本校はオーストラリアに姉妹校シュバリエカレッジがあり、代表生徒20名と教員2名を派遣した。現地でホームステイをしながら、シュバリエカレッジで語学研修。かるたや折り紙のワークショップ、アボリジニー文化の学習や小学校訪問等を行った。

▽国際交流

本校では海外の高校生との交流が盛んに行われている。例えば、香港、澳門の高校の生徒41名が政府主催の青少年交流事業JENESYS2.0の一環で本校に訪問した。着物に着替え周辺の大徳寺・今宮神社など散策した。

その他にも経済広報センターが主催している北米社会科教員招聘プログラムに参加した。北米の先生方を迎え、英語劇の授業や茶室でのお茶を通して交流を行った。

▽地域への参画（ボランティア活動）

京都紫野ロータリークラブ主催で紫野地区清掃活動を行った。また本校のすぐ近くにある今宮神社の今宮祭にて、鉾町での準備から祭礼列のボランティアに参加し日本伝統文化に触れた。

その他に第二回能舞台フェスタが今宮御旅所にて行われ、本校の放送局、ESSが日本語と英語で司会をした。また京都マラソンにて各部活の部員が給水のボランティアとして運営をサポートした。

▽その他

本校では京都市の中学生向けに授業を行い、本校の掲げるESDの特色を説明し、「世界中の子どもたちが教育を受けるにはどうすればよいか」というワークショップをオールイングリッシュで行った。

最後に、本年度は防災教育にも力を入れ、「当事者意識」をもった。防災に関する7つの問題にグループで取り組み、意見を共有して防災に対する心構えについて考えた。また後日、学校周辺の危険箇所や被害が予想される区域等を地図に書き込むフィールドワークを実施した。冬には北消防署、北消防団のご協力の下、起震車での地震体験や消火器の使用方法など、実際の災害を想定した防災体験を実施した。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☒ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（ ）